

愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://www.aioren.gr.jp>
発行人 樽松 佐一
第117号 2003年4月10日

第74回愛知県中央メーデー

とき 5月1日(木) 10:00開会
ところ 白川公園(名古屋市科学館南側)

**プラカード・デコレーション
コンクールにご参加下さい**

励まし合い、支え合いが 労働組合の原点です

北医療生協労働組合書記次長 西尾美沙子さん



患者家族会と北メンタルが患者の社会参加のために共同で運営する喫茶店でデイクアにあたる西尾さん

名古屋市北区の北医療生協北メンタルクリニックでソーシャルワーカー(精神保健福祉士)として働く西尾美沙子さんが労働組合と出会ったのは10年ほど前の93年秋。当時、西尾さんは瀬戸市にあった精神科の愛

治病院に新卒で就職し、胸をふくらませて働き始めた頃でした。
採用10ヶ月で不当解雇

平均の5倍、院内に笑顔はありませんでした。こうした中で職員に対して賃金体系の改善が行われようとした際、「みんな職場を変えよう」と組合を結成しました。職員全員で結成しましたが、院長の嫌がらせで次々に組合を脱退し仲間はずれになってしまいました。不当解雇や差別的な処遇に裁判闘争などで職場復帰しましたが、院長の死亡で病院が他の経営者に渡り、新病院には採用されず北メンタルクリニックで働くことになりました。

「私は強い人間ではないですが、自分の見えない可能性を引き出してくれるところが労働組合。仲間と助け合ったり支え合うことで「すばらしい」と話してくれました。」

商社の経営統合で大リストラ 3名の女性が 商社関連労組を結成

日商岩井
二チメン

総合商社、日商岩井のグループ会社で働く3名の女性が商社の身勝手なリストラに対し、会社責任に基づき雇用保障・就職斡旋や生活保障、年次有給休暇の買い取りなどを中心とする要求をかねて3月13日に全労連・全国一般労組商社関連労組を結成しました。

経営統合で4300人の大リストラ

中堅商社の日商岩井と二チメンは金融機関と取引先より2000億円の増資により経営統合しますが、統合に伴って両社のグループ会社4300社を270社に再編。人員整理4300名。両社では20%の賃金カットが大方針となっており、関連子会社では東京や大阪への転勤・転籍が行わ

れ、女性には「転勤先がない、どうしますか?会社は3月末で閉鎖です」と口頭で告げられ、事実上の解雇通告が行われていました。
会社の身勝手許さず
いっしょに頑張ろう
こうした中、「私たちは一生懸命働いてきたのに転勤先がない、クビだなんて悔しい」と3名の女性が愛労連の労働相談に駆け込んだのがきっかけとなりました。現在までに3回の団体交渉を開催し、雇用保障や退職割増金など一定の回答を引き出しています。
3人の仲間たちは「関連子会社には私たちのような仲間が大勢いるはず。もっと多くの仲間が一緒に立ちあがってほしい。一緒に頑張ろう」とよびかけています。

労働組合に出会えて良かった

不況の長期化と相次ぐリストラで私たち働くもののくらしや雇用はますます深刻なものとなっています。こうしたもとで切実な要求も簡単には実現できない状況もあり、労働組合に対する不信の声も聞かれます。労働組合に対する思いについてお二人に話を聞きました。

貧困や差別解消を原点に 役員として頑張り続けて

名古屋水道労働組合OB 森下東治さん

3月末、名古屋市水道局を定年退職したばかりの森下東治さん。森下さんは長野県の本曾谷出身。「中学生の頃、在日朝鮮人の同級生が何人かいたんですね。僕らも貧乏でしたが、彼らはもっと深刻でした。弁当の時間になるといつの間にかいなくなっていて、探してみ

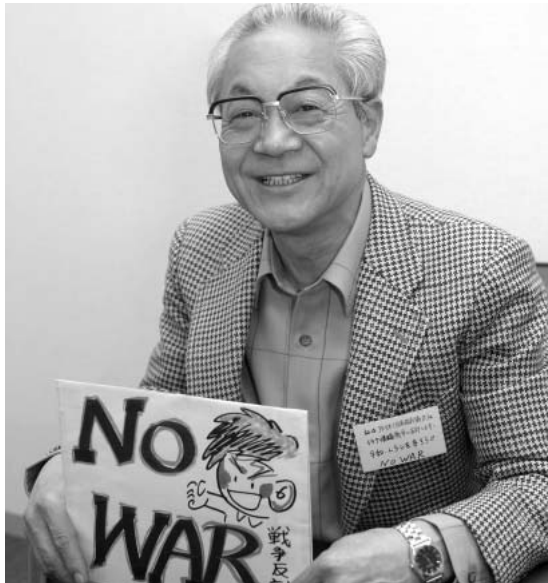
ると校庭の隅で水を飲んでいました。また、朝鮮人というだけでいじめられる人たちもいて、どうして差別するんだろうと思っていました」とご自身の原点を語られます。
中学卒業後、名古屋で就職し、1973年に当時の下水道局に再就職しまし

た。労働組合には自ら連絡をして加入しました。その夏には職場代議員、翌年には副分会長となりそれ以来、一貫して役員としてがんばり続けてきました。「私たち現業職は行政職との間に賃金格差があり、同じように苦勞して働いても差はついていたまま。係長試験

を受けることもできません。これを何とかしたいという思いが強かったですね」と役員を続けてきた思いを語ります。

信念貫きとおす

「賃金労働者としては一区切りを付けますが、いま世の中を見れば矛盾ばかり、決して安心してはいける状況ではないですから、現役の賃金労働者としてははいったん引退しますが、福祉の問題でも平和の問題でも関わっていきたいですね」と話されました。



「このプラカードを持って地下鉄に乗るといふ人たちががんばっていると声をかけてくださるんですよ」と森下さん

アメリカはイラクで劣化ウラン弾を大量に使用しています。湾岸戦争時には広島型原爆の1万4千倍から3万6千倍と言われます。原爆も劣化ウラン弾も一度の分裂で放射線が出すエネルギーは同じで人体にあたれば障害を引き起こします。強烈な熱線と爆風は無くても放射能は確実にイラクの大地と子ども達を蝕んでいます▼自民・公明ら与党は有事法制と個人情報保護法の月内衆院通過を確認しました。国民がイラク攻撃に目を奪われているスキの「火事場泥棒」です▼5月3日の憲法記念日が近づき9条をめぐる論議が行われます。今年には北朝鮮問題も「改正」の口実に使われます。民主党の岡田幹事長はパトリオットミサイルの導入計画に「これまでの延長線上」と答え、憲法問題としましませんでした▼憲法には9条以外にも大事な条文があります。27条には「すべての国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ」と。その第2項は労働基準法などの労働法を規定しています。リストラ・不当解雇が相次ぎ、愛労連に寄せられる労働相談には労基法すら無いような不法・無法な事件も増えています。「勤労の権利」は全く保障されていません。ところが政府はさらに「解雇を原則自由」とする法律を国会に。絶対に許すことはできません(K)

「こらむ」

**ストップ
イラク攻撃**

ひろがる反戦の波

3.23ビッグフェスタでは3000人の人文字でアピール (写真提供:中日新聞)

無法なイラク攻撃が開始された3月20日の緊急集会に800人参加

米大使館への怒りのメッセージボードには青年や親子連れが次々に

私にできることは イラクに薬を届けること

NGOを立ちあげて医療支援

「イラクには食べ物も、薬も不足しホテルのコンセントも壊れて使えません」と話すのは、今年2月にイラク国際市民調査団の一員としてイラクの病院や学校を訪問した小野万里子さん。二人の子を持つ母さん弁護士です。

劣化ウラン弾に
蝕まれる子どもたち

イラクでは12年前の湾岸戦争で米英軍が使用した劣化ウラン弾による放射能汚



イラクでは写真に写してもらうのがみんな大好き



Topics

3/13

3月13日の全国統一行動で建交労鉄道本部のスト突入集会。この他にも医労連の4単組や通信労組がスト突入



3/10・17・24

相次ぐ名古屋地裁・高裁での不当判決に対し、「切実な訴えを聞いて」と愛知争議団が裁判所への宣伝・要請行動



3/31

消費税やめさせる会が栄でロングラン宣伝。「税率アップはダメ」と多くの人が署名やシール投票に協力



小野 万里子さん
セイブ・ザ・イラクチルドレン・名古屋代表
(弁護士・名古屋市昭和区在住)

みんなで成功させよう

- 小野万里子イラク報告会
4月16日(水) 18:00～
北医療生協ワイワイルーム
- イラク戦争中止有事法制廃案県民集会
4月18日(金) 18:30～
栄小公園
- NO WARイラクコンサート
4月25日(金) 18:30～
熱田文化小劇場
- 森住卓写真展
「イラク・湾岸戦争の子どもたち」
5月1日(木)～8日(木)
地下鉄始発から終車まで (8日は17時)
セントラルパーク市民情報ギャラリー
(地下鉄久屋大通駅北改札口)

染によって、子どもたちに白血病やガン、無脳症などの奇形が急増しています。戦車から4千発、空からは100万発もの劣化ウラン弾がイラクの地に放たれました。小野さんが病院を訪れた際にも、ぐったりしていた子どもが1時間半の間に亡くなっていきしました。「私が許せないのは、劣化ウラン弾によってガンなどが多発するのがわかっていにもかかわらず、いまだに経済制裁によって薬までも止められていることです」と小野さん。苦しむ子どもたちにまともな治療などまったくできないのが現状です。

3月20日に開始された今回の無法なイラク攻撃でもアメリカは「劣化ウラン弾に危険はない」と、その使用を明らかにしています。しかし、湾岸戦争に参加したアメリカ兵にも白血病や

「自分が何ができることを考えたとき、薬を届けることだと思いました」と、小野さんは帰国後、イラクに薬を送るNGO(非政府組織)「セイブ・ザ・イラクチルドレン・名古屋」を立ちあげ、イラクの実情報告を行っています。(連絡先・小野万里子法律事務所・電話052・852・1336)

甲状腺被害などが発生し、またその子どもたちにも異常が起っています。

セイブ・ザ・イラクチルドレン



子どもたちが描いた絵は戦争ばかり

おやまほす

NO.15 医労連

「母が理容師だったので、子どもの頃から技術や資格を身につけて働きたいと思っていました」と話すのは、名古屋市熱田区にある社会保険中央病院で看護師として働く豊田信子さん。看護師の道を選んだのは中学の先生のおすすめでした。

実践で看護の素晴らしさ実感

看護は知識、技術、こころの バランスが大切



豊田 信子さん
健康保険病院労働組合
中京病院支部

長崎県出身の豊田さんは中学卒業と同時に単身で名古屋へ。高校の衛生看護科、看護専門学校を経て21年前から中京病院で働いてきたベテラン。

「大変だけど現場が好きです。自分の納得できる看護をめざしてきたいですね」と語る豊田さんはとても素敵でした。

とほありませんでした。患者さんに『ありがとう』といわれるのは本当にうれいすね」と。「職場に入ってから多くの先輩や患者さん達に育てられましたが、いまの新人さんは本当にかわいそう。知識は学校で覚えてきますが、技術はそうはいきません。現場で納得のいく看護めざして

現在は内視鏡室を担当しています。「中学卒業時には、どうしても自分がやりたいと看護師を選んだわけではないですが、学生時代にアルバイトで診療所のお手伝いをして患者さんとのふれあひの中で看護の素晴らしさを実感し、これまで迷うことなく看護の道に進んでいます。現場で納得のいく看護めざして

いきいき人生

第2の青春を

年金者組合で!!



- 全国47都道府県に県本部、各地域に682支部があります!
- 地域に友だちをつくって、住みよいまちに、楽しい文化・レク活動で豊かな高齢期を!!



●あなたの加入を待っています

連絡先

全日本年金者組合愛知県本部

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目15-32

TEL 052-521-7740 FAX 052-521-7279

5月下旬移転